

2003年5月13日

岡山市長 萩原誠司様

日本共産党岡山地区委員会
委員長 島田 清
日本共産党岡山市議団
団長 田畑賢司

緊急要求書

長引く不況の中、4月から医療制度の更なる改悪、年金の引き下げ、介護保険料の負担増などが実施され、市民の暮らしはますます大変になっています。それだけに岡山市が地方自治本来の役割をはたし、市民の暮らしと地域経済を守る市政が必要になっています。そこでわが党市議団は6月議会にむけて緊急に次のことを要求します。

要求項目

- 1、 合併・政令市問題は拙速な法定協議会の設置をせず、市民的議論を徹底すること。合併にあたっては住民投票を実施すること。
- 2、 要介護者の在宅でのくらしを支えるために介護保険制度の低所得者に対するホームヘルプサービスの利用料を3%のままで実施すること。
- 3、 身体障害者手帳3級の医療費助成制度を拡充し、とりわけ在宅酸素療法の患者等への負担軽減をはかること。
- 4、 国民健康保険料の値下げをし、資格証明書の発行をしないこと。
- 5、 乳幼児医療費無料化制度を就学前までかくだいすること。
- 6、 準曜保護(就学援助)制度の収入基準額を420万にもどし、修学旅行と学校給食の補助率を平成11年度の内容までもどすこと。
- 7、 LD・ADHD・アスペルガー症候群などの軽度発達障害児への制度を創設すること。
- 8、 吉備病院にエレベータを創設すること